

地域実験動物研究会の活動報告

各地域の実験動物研究会の活動を順不同で紹介いたします。ホームページ及び岡山実験動物研究会事務局宛に送付された研究会案内資料、ニュースレター、会報等を参照して作成しました。詳細な内容のお問い合わせは各研究会の事務局までお願いします。

関西実験動物研究会

事務局：京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設内

TEL: 075-753-4489, FAX: 075-753-4409

E-mail : kansaijim@anim.med.kyoto-u.ac.jp

URL : <http://www.anim.mcd.kyoto-u.ac.jp>

◎第 21 回総会及び第 81 回関西実験動物研究会
(平成 16 年 3 月 5 日(金) 13:20~16:50 京大会館)
<講演>

テーマ「糖尿病モデル動物の開発、解析そして応用へ」

1. 「KDP ラット：I 型糖尿病モデル動物の特性と解析」横井伯英(神戸大院・医・細胞分子医学)
 2. 「糖尿病モデルマウス-秋田マウスの特性」小泉昭夫(京都大院・医・環境衛生学)
- 維持会員ニュース 「実験動物技術者の育成を考える」三協ラボサービス㈱

◎第 82 回関西実験動物研究会(平成 16 年 6 月 25 日(金) 13:00~17:00 神戸医療研究情報センター(TRI)会議室)

<講演>

1. 「ES 細胞分化の試験管内誘導」西川伸一(理化学研究所 CDB)
2. 「生殖細胞系列におけるゲノムインプリンティング研究の最新のトピックス」石野史敏(東京医科歯科大学・難治疾患研究所・エピジェネティクス)

維持会員ニュース 「㈱ワイエス研究所:遺伝子改変動物関連の支援技術開発」

特別企画：神戸医療産業都市構想(ツアー)

◎第 83 回関西実験動物研究会(平成 16 年 9 月 24 日(金) 13:30~17:20 琵琶湖ホテル)

<講演会>

テーマ「非侵襲的生体内細胞追跡法、MRI による細胞トラッキングと PET による分子イメージング」

1. 「実験動物の MR 画像-生体内移植幹細胞の無侵襲追跡を例にして」犬伏俊郎(滋賀医科大学・MR 医学総合研究センター)
2. 「PET を用いる分子イメージング」古川高子(福井大学医学部・高エネルギー医学研究センター・分子イメージング部門)

<維持会員ニュース>

1. ㈱オリエンタルバイオサービス：「オリエンタルバイオサービスの神戸レンタルラボ紹介」
2. 高塚薬品㈱：「ハイボックウォーターの消毒消臭効果とその応用」

滋賀県内会員紹介

◎関西実験動物研究会会報 第 24 号 平成 15 年 12 月発行 目次

第 75 回研究会(平成 14 年 9 月 6 日)

テーマ：「組換え動物の利用と規制」

1. Naked DNA を用いた生体での遺伝子発現法
宮崎純一(大阪大院・医・幹細胞制御分野)
2. 組換え DNA 実験指針改訂に伴う動物を用いる実験の取り扱い
安居院高志(北海道大院・獣医・動物疾病制御学)

第 76 回研究会(平成 14 年 12 月 6 日)

特別講演

マウスモデルを用いた大腸癌の形成とその化学予防の研究

武藤 誠(京都大院・医・薬理遺伝学)

「珍頑鼠育草」の鼠はマウスかラットかネズミか

芹川忠夫(京都大院・医・動物実験施設)

会員による研究発表(17 題)

第 77 回研究会(平成 15 年 3 月 7 日)

テーマ：西ナイルウィルスの最新情報

1. バイオエマージェンシーとしての米国のアルボウィルス感染症
高崎智彦(国立感染症研究所・ウイルス第一部第 2 室)
2. 西ナイルウィルス感染に対する宿主側免疫防御機構の解明
真下知士(京都大院・医・動物実験施設)

第 78 回研究会(平成 15 年 6 月 6 日)

テーマ：細菌感染症の病原因子と病態

1. 下痢原性大腸菌の病原性-遺伝子解析から見えてきたこと- 山崎伸二(大阪府大院・農・獣医国際防疫研究室)
2. 細菌性病原因子と生体成分の相互作用-百日咳菌壊死毒の分子作用機構
堀口安彦(大阪大微妍・細菌毒素学分野)
3. ボツリヌス神経毒素に関する最近の研究動向
小崎俊司(大阪府大院・農・獣医感染症学研究室)

<関西実験動物研究会だより>

幹事会、評議員会、総会の議事概要

会員の異動・個人会員名簿・維持会員名簿

評議員名簿・会長、幹事、監事名簿

東海実験動物研究会

事務局：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞 65
金沢大学学際科学実験センター
遺伝子改変動物分野内

TEL: 052-744-2466, 2468 FAX: 052-744-2482
E-mail : oda@agr.nagoya-u.ac.jp (織田)
連絡先: 052-789-4179

◎東海実験動物研究会(2004年度3月例会 3月5日 14:00~17:00 国立生理学研究所講義室
演題と演者

1. 「脳のナトリウム受容機構」 渡辺英治 (基礎研究所・形質転換生物施設)
2. 「遺伝子改変マウスを利用したGABAニューロンへのアプローチ」 柳川右千夫 (生理学研究所・神経化学部門)
3. 「遺伝的背景の組み合わせにより症状が緩和した aganglionosis rat」 安居院高志 (北大獣医学部・実験動物学教室)

施設の見学 「遺伝子組み替え動物飼育施設」

◎東海実験動物研究会 2004年度研究発表会

7月31日(土)13:00~17:10 名古屋大学農学部第8講義室

一般講演 15題 (演題のみ)

1. スンクスにおける寒冷暴露時ならびに高脂肪食摂取時の D2, Uop 1 mRNA 発現量
2. スンクスにおける上顎歯欠如と頭蓋骨の大きさの関係
3. ハタネズミにおける胎盤形成の光顕および走査電顕による観察
4. 実験動物としてみた淡水性カメ類
5. ベストキャン (動物用生化学・電解質・血液分析器) の紹介
6. マウス周生期における CD34 陽性造血幹細胞の増減と造血系接着因子および VCAM-1 および Fibronectin の発現について
7. 歯牙う蝕モデルとしての ODS ラット: 予報
8. 遺伝子改変動物による発癌モデルマウス作製とその応用
9. 筆による先行刺激が von Frey test の再現性へ及ぼす影響
10. ラットにおける自立神経機能評価での麻酔法による反応差異
11. 健康の為のフォーミーベクターによる α リノレン酸/リノール酸組成改善の試み
12. 小動物用麻酔薬が心行動態に及ぼす影響
13. エンドトキシンによるチトクローム P450 と薬物トランスポーターの発現低下における TNF- α の関与
14. 雌雄ラットにおける肝薬物トランスポーター P 糖蛋白質および多剤耐性関連蛋白 Mrp2 の発

現量と機能

15. 新たに見出された歩行失調を呈する joggle マウスの遺伝と異常

特別講演

ヒト・プリオンに高感受性を示す遺伝子組換えマウス 三好一郎

情報紹介 2005 年動物愛護法の改定に向けた動き 織田銑一

北陸実験動物研究会

事務局：〒920-8640 石川県金沢市宝町 13-1
金沢大学学際科学実験センター
遺伝子改変動物分野内

TEL: 076-265-2460 FAX: 076-234-4240

E-mail : lara@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

URL : <http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med38/lara/index.html>

◎第 21 回研究会(平成 15 年 11 月 22 日(土) 14:00~17:00 富山医科薬科大学・生命科学実験センター・生物資源開発分野会議室)

特別講演 「動物のウィルス抵抗性 Mx 遺伝子のゲノム解析」 渡辺智正 (北海道大学大学院農学研究科)

一般講演 3 題

1. アルツハイマーモデル動物における記憶障害、軸索の萎縮、シナプス減少が ginsenoside Rb1 およびその腸内細菌代謝物 M1 により回復する
2. げっ歯類を用いたヒト水痘一帯状疱疹ウィルス潜伏感染の定量的モデル
3. 卵巣摘出モデルラット及びマウスを用いる漢薬 “Dioscorea spongiosa” の抗骨粗活性の研究

検疫報告

平成 14 年度から 15 年初に富山医科薬科大学において発生したマウスの MHV 感染とその対応について

維持会員ニュース 「㈱サンテクノの業務内容」

(㈱サンテクノ営業部 奥村隆史)

◎第 8 回総会・第 22 回研究会(金沢) (平成 16 年 5 月 8 日(土) 金沢大学医学部記念館 2 階 会議室)

特別講演 1. 「理研 BRC: 我が国のライフサイエンス研究の基盤整備のために」

小幡裕一 (理研パイオリソースセンター・リソース基盤開発部 部長)

特別講演 2. 「遺伝子改変マウスの胚・精子バンクシステム」

中潟直己 (熊本大学生命資源研究・支援センター・動物資源開発研究部門 教授)

特別講演要旨から引用

○理研 BRC のホームページ

<http://www.brc.riken.jp/>

○熊本 CARD のホームページ

CARD (Center for Animal Resource and Development)

<http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/>

維持会員ニュース ニノックスラボサプライ(株)

「ニノックスラボサプライ(株)の業務内容」

ニュースレター No. 21 (平成 15 年 11 月 18 日発行)

幹事会記録

お知らせ(第 21 回研究会案内)

講演要旨 前記の特別講演・一般講演・検疫報告・維持会員ニュース

連載: 発生光学の現在(2) 再生医療

ニュースレター No. 22 (平成 16 年 4 月 27 日発行)

幹事会記録

お知らせ(第 8 回・第 22 回研究会案内)

講演要旨 前記の特別講演 1・2

維持会員ニュース

連載: 発生光学の現在(2) 飽和突然変異体作製

九州実験動物研究会

事務局: 〒852-8523 長崎市雨坂本 12-4

長崎大学先端生命科学支援センター

比較動物医学分野(動物実験施設)

TEL: 095-849-7135 FAX: 095-849-7148

E-mail: y-abe@net2.nagasaki-u.ac.jp

URL: http://www.miyazaki-med.ac.jp/animal_center/11_meeting.html

◎第 22 回九州実験動物研究会総会, 第 24 回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会
合同開催のご案内(第 1 報)

世話人 越本 知大(宮崎大学)

平成 16 年 11 月 6 日(土)、7 日(日)

宮崎市橘通東 4-10 カリーノ宮崎 8 階コミュニティスペース「ガガエイト」

<http://miyazaki.carino-web.com/index.html>

事務局: 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター生物資源分野

E-mail: ckos@med.miyazaki-u.ac.jp

11 月 6 日(土)

第 22 回九州実験動物研究会総会

一般演題(口頭発表)

賛助会員トピックス

特別講演・シンポジウム

11 月 7 日(日)

第 24 回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会

◎九州実験動物雑誌第 19 号(平成 15 年 10 月発行)

特別寄稿

加齢と老化—実験動物で加齢個体を飼育した経験から 田中 慎

ミンククジラにおける消化器、呼吸器および内分泌器に関する形態学的研究 下川哲也

原著

1. 第 1 染色体上の高血圧連鎖領域を SHRSP ホモ型として有するコンジェニックラットの行動特性 川上浩平

2. 重症複合免疫不全(SCID) マウスを用いた成人 T 細胞白血病(ATL) モデル作製における加齢の影響 大杉剛生

寄稿

バイオベンチャーの創薬環境 宮脇宏彰

資料

中国西安交通大学医学院実験動物センターの紹介 劉 恩岐

第 20 回九州実験動物研究会総会記録

特別講演

血統と分子系統分類による国内飼育チンパンジーの亜種分類 篠田謙一

総説

可逆性不死化ヒト肝臓細胞を用いた細胞療法の開発 小林直哉

第 21 回(平成 14 年 11 月 2・3 日)九州実験動物研究会総会プログラム

第 20 回九州実験動物研究会総会記録

研究会だより他

東北実験動物研究会

事務局: 〒980 仙台市青葉区星陵町 2-1

東北大学医学部動物実験施設内

TEL: 022-33-717-8175 FAX 022-717-8180

URL: <http://www.med.akita-u.ac.jp/~doubutu/tohoku/tohoku.html>

◎第 14 回東北動物実験研究会(平成 15 年 12 月 5 日(金)) 秋田大学医学部 大会議室(附属病院 外来棟 2F)

特別講演 1. 遺伝子組換え動物の管理と組換え DNA 実験指針 手塚英夫(山梨大学総合分析実験センター資源開発分野)

特別講演 2. わが国の遺伝子組換えマウスにおける各種病原体に対する感染状況 高倉 彰(実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター)

特別講演 3. 東北大学附属動物実験施設で経験した MHV 汚染とその後の対策 末田輝子(東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設)

特別講演 4. 遺伝子組換えマウスを利用した癌抑

制遺伝子 PTEN の生体における機能解析 鈴木聡
(秋田大学医学部構造機能医学講座分子機能学分野)

第 21 回日本疾患モデル学会総会開催の案内

関西実験動物研究会会長の芹川忠夫先生から事務局宛に上記の開催案内がありましたので、紹介します。なお、芹川先生は第 21 回日本疾患モデル学会総会の会長を務められます。

総会ホームページ

<http://www.anim.med.kyoto-u.ac.jp/DiseaseModel>

後援：関西実験動物研究会・ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」

会期：平成 16 年 11 月 11 日(木)、12 日(金)

会場：京都大学医学部百周年記念施設

芝蘭会館 Tel：075-753-4302

プログラム

11 月 11 日 午前 一般講演

午後

特別講演

「ノックアウトマウス、疾患モデル、創薬；プロスタノイド研究における経験」

成宮 周 (京都大学医学研究科)

シンポジウム 1「疾患研究におけるオリゴジェニックモデル」

1. はじめに 「ようこそオリゴジェニックワールドへ」 芹川忠夫 (京都大学医学研究科)

2. 糖尿病と自己免疫疾患 「NOD マウスにおけるオリゴジェニック病としての I 型糖尿病：MHC-関連遺伝子」 服部正和 (京都医療センター)

3. リウマチ「関節炎発症への多様なサイトカインの関与」 岩倉洋一郎 (東京大学医科学研究所)

4. がん「消化管腫瘍発生における遺伝子変異と生体反応の役割」 大島正伸 (京都大学医学研究科)
「発癌の連盟的首位性」 樋野興夫 (順天堂大学、(財) 癌研究会癌研究所)

11 月 12 日 午前 一般講演

午後

シンポジウム 2 「新しい展開を迎えるラットリソース」(ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット公開シンポジウム」)

1. 基調講演

「化学発癌モデルとしての 7-12-DMBA 誘発ラット白血病」 杉山武敏

2. NBRP-Rat の進捗状況「ラットリソースの収集・保存・提供、そしてフェノムプロジェクト」
芹川忠夫 (NBRP-Rat 代表者、京都大学医学研究科)

3. ラットリソースの開発と活用 「ヒトプロト型 c-Ha-ras 遺伝子トランスジェニックラット-がん組織発生、予防および治療研究への展開-」
津田洋幸 (名古屋市立大学大学院医学研究科)

「糖尿病のコンジェニックラットによる再構成：糖尿病発症と肥満との相関」 松本耕三 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

「SHRSP を用いた高血圧およびその関連疾患の遺伝的解析」 並河 徹 (島根大学医学部)

「トランスジェニックラット：移植・再生医学研究における強力なツール」小林英司 (自治医科大学・分子病態治療研究センター)

「化学変異原を用いた新規ミュータントラット系作製の試み」 原田良信 (放射線医学総合研究所)

「ラットの顕微授精について」 平林真澄 (岡崎国立共同研究機構・生理学研究所)